

平成 21-23 年度科学研究費 基盤研究(B)

「日韓中3か国の協働による相互理解のための国際理解教育カリキュラム・教材の開発」

本研究の目的は、日韓中の協働により相互理解を深めるための教材を開発し、それらを発達段階に応じて構造化して、カリキュラムを構築することです。そのために、3か国の研究者および学校教員による研究グループをテーマごとに編成し、教材開発を行っています。

教材は、3つの大単元「食文化」「人間関係」「人の移動」から構成されています。

A「食文化」単元の「麺」グループでは、麺を通じての3か国のつながり、および3か国における麺をめぐる文化の違いをとりあげています。「米」グループでは、米をめぐるグローバル化とローカリゼーションをとりあげた教材を開発しています。

B「人間関係」単元の「つきあい方」グループでは、家族・教師・友人とのつきあい方の違いと共通点を、「言語・言語活動」グループでは、「あいさつ言葉」「お礼の言葉」「若者言葉」の違いと共通点をとりあげた教材を開発しています。

C「人の移動」単元の「移民」グループでは、ハワイ移民・ブラジル移民をテーマにした読み物教材を、「留学生」グループは、留学生にとっての異文化や直面している諸問題をとりあげた教材を、「旅行」グループは、3か国の文化や歴史、つながりなどを宗吾に理解するための双六教材を開発しています。

教材開発研究のプロセスで、3か国の研究者／学校教員間の相互理解が深まりつつあり、同時に、各国の児童／生徒の実情や国際理解教育の現状についても、次第に明らかになってきました。こうして得られた知見を生かしながら、今後、3か国で広く活用される教材・カリキュラムの開発をめざしています。

本研究の成果は、毎年日本国際理解教育学会の研究大会で発表するとともに、教材集として出版したいと考えています。

	氏 名	所 属	グループ
研究代表者	大津 和子	北海道教育大学	人の移動
研究分担者	藤原 孝章	同志社女子大学	食文化
	森茂 岳雄	中央大学	人の移動
	中山 京子	帝京大学	人の移動
	多田 孝志	目白大学	人間関係
	釜田 聡	上越教育大学	人間関係
	桐谷 正信	埼玉大学	食文化
	服部 圭子	近畿大学	人の移動
	栗山 丈弘	文化学園大学	食文化
研究協力者(日本)	中山 博夫	目白大学	人間関係
	織田 雪江	同志社中学校・高等学校	食文化
	西村 克人	同志社香里中学校	人間関係
	東峰 宏紀	恵庭市立若草小学校	人の移動
	田中 孝治	恵庭市立若草小学校	人の移動
	若井 知草	目白大学	人間関係
	金 玆辰	北海道教育大学	人の移動
研究協力者(韓国)	HAN, Kyung-Koo	Seoul National University	食文化
	HAN, Geon-Soo	Kangwon National University	人の移動
	HEO SIN HYE	Hannam University	人間関係
	Chongnam Suh	Kyonggi University	人間関係
	YOO, Chul-In	Cheju National University	人の移動

	YIM, Kyung-Taek	Chonbuk National University	食文化
	KIM Da-Wom	Sangdong Junior Highschool	人間関係
	SEO, GYUNGJEON	Sungpo Middle School	食文化
	CHABOEUN	ソウル金北小学校	食文化
	KIM Jong-Hun	Planning and Administration, APCEIU	人間関係
	KIM Kwang-Hyun	Publication and Communication, APCEIU	人の移動
研究協力者(中国)	郭 雯 霞	人民教育出版社綜合文科室	食文化
	赵 克 玲	北京教育学院	人の移動
	陈 红	北京教育学院	人の移動
	周 晓 超	北京第二实验小学校	食文化
	辛 晓 莲	北京市十一中学校	人の移動
	祖 国 华	鄭州中学校附属小学校	人間関係